

プロジェクト演習で京都の「オーバーツーリズム」について調査に行きました。

本年度のプロジェクト演習では「京都のオーバーツーリズム」の問題点を探るべく、前期に KJ 法で自由に意見を出し合い、その内容をまとめて、PowerPoint を使用し最終講義の時間に発表を行いました。その結果に基づき、9月7日（土）に履修学生とともに京都駅から出発し、人気観光地である清水寺や錦市場に調査に行きました。清水寺までの道のりでは、清水坂に観光客が溢れ、その横を自動車が通過していくなど危険だと思われる光景もありました。

次に訪問した錦市場では、ほぼ観光客相手に商売している店であり、庶民の台所という光景は見られませんでした。京都は観光都市であり、観光なくしては財政が維持できません。そのため、観光客が多く訪問してくれることは大変ありがたいことです。

後期はこの調査をもとに具体的な内容や京都市観光局から頂いた資料をもとに、さらに議論を進めていきます。

※本学のプロジェクト演習は「問題解決のための実践的な経験」という位置付けとしてキャリアプランニングに組み込まれています。①地域社会のなかで実践的に活動し、学生の時期に社会経験を積んでいくことを目的としたケイタン独自の演習プログラムです。②行政との連携や地域の方々とのコミュニケーションを通じて「社会人」としての基礎学力を高めることを目標とした演習になっています。(大学パンフレット、8ページ参照)

(文責 河口和範)



京都市内の主な観光地に行くための直行バスが運行されています。



清水寺での記念撮影。